

| |
|--|
| 受付番号 |
| 603 |
| 研究演題名 |
| 雷鳴頭痛を伴わない可逆性分節性脳血管攣縮に関する研究 |
| 研究期間 |
| 承認日から 2020 年 3 月 31 日まで 済生会熊本病院医療倫理委員会承認日 2017 年 9 月 27 日 |
| 試料・情報の利用目的及び利用方法 |
| <p>可逆性脳血管収縮症候群(RCVS)は反復性の雷鳴頭痛を呈し、分節性の可逆性血管収縮を特徴とする疾患群です。しかし、近年、激しい頭痛の存在しない RCVS と似たような分節性の可逆性血管収縮をきたす患者様の存在が報告されています。</p> <p>本研究では雷鳴頭痛を伴う可逆性分節状収縮を認めた患者様と雷鳴頭痛を伴わない可逆性分節状収縮を認めた患者様の臨床的特徴、画像的特徴、予後などを調べることでこの二つの疾患が同様の経過をたどるのか検討を行います。</p> |
| 研究に利用する試料・情報を利用する者の範囲 |
| <p>基幹施設</p> <p>研究を実施する機関名称：熊本大学大学院生命科学研究部 神経内科</p> <p>研究責任者：安東 由喜雄</p> <p>共同研究機関および共同研究者</p> <p>橋本 洋一郎（所属）熊本市民病院 神経内科部長</p> <p>寺崎 修司（所属）熊本赤十字病院 神経内科部長</p> <p>米原 敏郎（所属）済生会熊本病院 神経内科部長</p> |
| 研究の対象となる方 |
| 2009 年 4 月から 2017 年 4 月までに当院に入院し、MR angiography、CT angiography、intra-arterial angiography などの脳血管画像検査にて RCVS 様の分節性収縮を認め、かつ可逆性が確認された患者様 |
| 研究に利用する試料・情報の項目 |
| 通院・入院時にカルテに記載された年齢や性別、症状の経過や神経所見、画像所見など |
| 研究機関の名称並びに研究責任者の氏名 |
| <p>研究機関名称：熊本大学大学院生命科学研究部</p> <p>研究責任者：安東 由喜雄 神経内科 教授</p> |
| 研究に関する資料の入手・閲覧について |
| <p>ご要望があれば、患者様とご家族が読まれる場合に限り、他の患者様の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内において、この研究の計画書をご覧いただけます。下記担当者までご連絡ください。</p> |
| 個人情報の取り扱いについて |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 個人情報は研究のために特定した目的、項目に限り適正に取得、利用します。 2. 取得した情報を用いて解析した研究の結果は、論文や学会発表として公表されますが、公表され |

る 情報には個人を特定し得る情報は含まれませんのでご安心ください。

3. 取得した情報は万全な安全管理対策を講じ、適切に保護し慎重に取り扱います。
4. 個人が特定できる情報が熊本大学から外部に出ることはありません。
5. 本研究を行う中で、想定していなかった患者様やその御家族に重大な影響を与える結果が偶然に得られる場合があります。そのような結果について、説明をご希望される場合には担当医師までご連絡下さい。私共の倫理委員会と相談の上、対応させていただきます。
6. 本研究で取得し管理している情報に関して、開示、訂正、削除、あるいは第三者への開示、提供の停止を希望される方は、担当医師までご相談ください。
7. 一般的な質問や苦情がある方は、下記の対応窓口までご連絡ください。

利益相反について

本研究に携わる全研究者におきまして、本研究の公正さに影響を及ぼすような利害関係はありません。

お断りのお申し出について

この研究に、ご自分のデータ（情報）を使用してほしくないと思われる場合は、その旨下記の対応窓口までお申し出ください。それまでに収集された情報を一切使わないようにすることができます。その場合でも、通常の診療などで不利益を受けることは全くありません。上記の調査期間中であれば、いつでもお断りいただけます。

お問い合わせ・ご相談への対応窓口

研究代表者

熊本大学生命科学研究部 神経内科

担当者：安東由喜雄

連絡先：熊本大学医学部附属病院 神経内科

〒860-8556 熊本県熊本市中央区本荘 1-1-1

電話 096-373-5893

共同研究責任者

済生会熊本病院 神経内科

担当者：米原 敏郎

連絡先：済生会熊本病院 神経内科

〒861-4193 熊本県熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号

電話 096-351-8000(代)